図書館だより　102号

令和７年４月１日

秋草学園短期大学図書館

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！

今までの生活で図書館を利用することがあまりなかった学生さんも、これからの学校生活では図書館を利用する機会が増えるかと思います。本学の図書館の資料は、**利用者証**がなければ借りることは出来ません。実習やテスト、課題などの前には図書館がとても混雑します。休み時間や授業の空き時間、放課後などに前もって利用者証を作っておく事をおすすめします。利用者証は学生証の裏面に発行します。忘れずに**学生証を持参**してください。

図書館では、**飲食物の持込みを禁止**しています。図書館の資料が汚れたりするのを防ぐためです。図書館出入り口の近くにロッカーがありますので、そちらにしまってから入館するようにしてください。図書館は、多くの方が利用する場所です。他の利用者の迷惑にならないよう、図書館でのマナーを守るようお願い致します。

資料の探し方など、わからないことがありましたら遠慮なく図書館職員にお尋ねください。必要な資料が図書館になかった場合は、取寄せや購入リクエストも受付けています。購入リクエスト用紙は館内にありますので必要事項を記入し、図書館職員に提出してください。

今月の特集…『春を感じる小説　特集』

春のように温かい気持ちになれる小説をご紹介します。

- 「葉桜の季節に君を想うということ」歌野 晶午 著／文藝春秋【B913-ｳ】
  …フィットネスで請負った謎の究明依頼と、線路に飛び込んだ女性。２つの出来事が交錯した先にあるものは。
- 「旅屋おかえり」原田 マハ 著／集英社【B913-ﾊ】
  …番組を打ち切られた女性タレントが、事務所に届くメールを基に『旅行代行』として全国行脚していく。
- 「君の膵臓をたべたい」住野 よる 著／双葉社【913.6-ｽ】
  …秘密を共有したふたりの間に交わされた、『膵臓をたべたい』という言葉の真意とは。
- 「四月になれば彼女は」川村 元気 著／文藝春秋【913.6-ｶ】
  …一年後に結婚を控えた藤代のもとに、元恋人から手紙が次々届く。なぜ今になって手紙を送ってきたのか。
- 「小説・秒速５センチメートル」新海 誠 著／メディアファクトリー【B913-ｼ】
  …ひとりの主人公の恋を描いた、映画を原作とする３つの短編集。恋の行方は桜をきっかけに動き出す。
- 「天使の卵」村山 由佳 著／集英社【913.6-ﾑ】
  …偶然の再開をきっかけに生まれた、切ない恋の物語。続編、『天使の梯子』『天使の柩』もおすすめです。

他にもたくさんあります。気になる方は是非、ご来館ください。

今月の特集本は、カウンターにある「今月のおすすめ」コーナーに置いてあります。

～図書館職員が選ぶ～

今月のピカッと光る一冊

『ちぎれた鎖と光の切れ端』　荒木 あかね 著／講談社／913.6-ア

キャンプのため孤島のコテージに集まった、８人の男女。クローズドサークルともいうべきこの島で、主人公の樋藤は過去の事件の復讐のため、コテージで全員の殺人を計画していた。全員を殺害後に犯行声明をネット上へアップロードできるようにセットして、いざコテージへ…。しかし、直前になって殺意が鈍り、実行をためらっている間に、自分ではない別の誰かによる殺人が行われてしまう…。このままでは、自分が無実の罪で捕らわれる。犯行声明が出される前に、自分で犯人を見つけないと。管理人と自分を含めた８人の中に、確実に殺人犯はいる。犯行声明のタイムリミットを焦る樋藤と、猜疑心と次に狙われるという恐怖に覆われるコテージを、第二・第三の殺人が襲う…。自分が犯人でないなら、いったい誰が？何のために？

ミステリーの探偵役というと、その場に偶然居合わせた人、警察、話を聞いているだけの安楽椅子探偵…と様々ですが、今回は被害者を殺すつもりだった、という一風変わった探偵役です。被害者が実は強い恨みを買っていて…という展開も、実は一番被害者を恨んでいるのは探偵役だったりと、今までと違うミステリーを楽しめます。

本書は二部構成になっていて、今回紹介した内容は第一部のものです。第二部は舞台も登場人物も異なりますが、コテージでの事件のさらに深い真相を知ることができます。

推薦者　加羽澤

貸出ランキング　～1･2･3月～

貸出回数	書　　名	著者名	出版社
３回	おべんとうバス	真珠 まりこ 作・絵	ひさかたチャイルド
２回	マンガでやさしくわかる傾聴	古宮 昇 著	日本能率協会マネジメントセンター
２回	おおきくおおきくおおきくなあれ	まつい のりこ 脚本・画	童心社
２回	ばけばけばけばけばけたくん	岩田 明子 文・絵	大日本図書
２回	もこもこあわあわだーれだ？	やまざき なみこ 作・絵	ＰＨＰ研究所
２回	ぼうしとったら	ｔｕｐｅｒａ ｔｕｐｅｒａ 作	学研教育出版

※貸出回数が同数のものが複数冊あったため、その中から司書がピックアップしました。

編集後記

不安定な気候ばかりで温かい春の訪れが待ち遠しくなる中、いよいよ新学期になりました。

新入生の皆さんは、いよいよ大学生活が始まります。慣れるまでは大変かと思いますが、ぜひ学生生活を楽しんでください。そして、なにか困ったことがあれば、ぜひ図書館をご利用ください。図書館専用のホームページも開設しています。

皆さんに安心して利用してもらえる図書館になるように努めていますが、ご意見やご要望等がありましたら、館内の投書箱へ投函してお知らせください。

次号の『図書館だより』は 2025 年 6 月に発行予定です。バックナンバーはこちら→

担当 加羽澤